

2016 前期 LS(地)

受験番号

2016 年度 甲南大学法科大学院入学試験問題

専門論文試験 民事訴訟法・刑事訴訟法

(120分)

受験についての注意

1. 試験開始の合図があるまで問題冊子を開いてはならない。
2. 問題は2ページである。印刷不鮮明、汚損等があれば申し出ること。
3. 解答用紙は民事訴訟法と刑事訴訟法各1枚である。解答用紙には裏面もあるので注意すること。
4. 解答は、該当する科目の解答用紙を使用すること。解答用紙を誤った場合、その答案は無効となる。
5. 答案は、横書きとする。
6. 答案は、実線内の番号に従って書き進めること。
7. 答案は、黒ボールペンまたは黒インクの万年筆で記入すること。これら以外で記入された答案は、無効となる。
8. 答案を訂正するときは、訂正部分が数行にわたる場合は斜線で、1行の場合には横線で消して、その次に書き直すこと。
9. 下書きには、問題冊子の余白を適宜利用すること。
10. 問題冊子は必ず持ち帰ること。

専門論文試験 民事訴訟法

【問題】

以下の概念、制度、手続について説明しなさい。

[1] 文書成立の真正

[2] 形式的形成訴訟

[3] 権利能力なき団体の当事者能力

専門論文試験 刑事訴訟法

【問題】

以下の項目、用語ないし原理などについて、簡潔に説明せよ(なお、判例を前提にする)。

- (1) 逮捕から勾留までの手続について
- (2) 訴因変更とは何か。その限界はなにか。
- (3) 320条1項の趣旨について